

Makuhari's Memory

全国にお互いの応援団！

令和4年5月11日～13日の3日間、「管理職の必須知識講座」を受講し、無事に修了証書をいただきました。全国から55名の受講生が参加した本研修では、職場での同様の課題が窺えました。メンタル不調の職員を抱えていたり、指導とハラスメントとの狭間にジレンマを感じながらの奮闘ぶりがグループ討議で盛り上がり、また講師の方々も同様であることに勇気づけられました。

研修のたびに、生き方を問われている気がします。

今回の研修で、全ての講義において、誠実さ、言葉の大切さ、感情の言語化、想い・志などが通じると感じました。管理職として「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」(山本五十六)を肝に銘じたいと改めて感

じた研修でした。

LINEグループでつながりができましたので、今後も同じ思いで頑張っている仲間が全国にいることを支えにお互いに奮闘しましょう！

コロナ禍の中、開講に苦慮していただいた市町村アカデミーの皆様はじめ、講師の方々、関係者の皆様、そして貴重な機会を与えてくださった人事担当部署、職場の皆様にご感謝いたします。



橋口 雅子

長崎県五島市
市民生活部長
〈受講研修科目〉
管理職の必須知識講座
第36期第1組（令和4年度）